

公益財団法人東京動物園協会次世代育成支援行動計画概要

公益財団法人東京動物園協会は、職員を雇用する事業主として、職員が仕事と生活との調和を図り働きやすい雇用環境の整備を行うことにより、職員がその能力を十分発揮できるようにするとともに、少子化対策の一層の推進に資するため、この行動計画を策定する。

1. 計画期間 平成24年1月1日から平成25年12月31日までの2年間

2. 目標

(1) 年次有給休暇の取得率の向上

平成25年における年次有給休暇の平均取得率を、一般職員にあつては75%以上、管理職員にあつては50%以上とする。

(2) 介護休業・看護休暇の有給化

無給の取扱いとなっている介護・看護休暇を、平成23年度中に有給化する。

(3) (仮称) 動物園協会ファミリーデーの実施

家族に職場に対する理解を深めてもらうとともに、働きやすく家族をたいせつにする職場の雰囲気づくりを行うため、「(仮称) 動物園協会ファミリーデー」を平成24年度に実施する。

3. 目標達成のための取組み

(1) 職員・職場の意識改革

仕事のやり方を見直すなど、職員・職場の意識改革を図り、業務遂行体制の工夫・見直しを進める。

(2) 制度の周知

協会内の情報ネットワーク上に、「子育て支援情報掲示板」を設置し、制度の周知と解説や子育ての体験談を掲載するなどの情報提供を行う。

(3) 妊娠・子育て中の職員への支援

育児休業等を取得できるように、業務分担の見直しや勤務時間の割振りにあたって配慮を行うなど、創意工夫による職場環境の整備に努める。

(4) 男性職員の子育て参加支援

業務分担の見直しやアルバイトの活用など、創意工夫により職場環境を整備する。周りの職員も育児休業や部分休業の円滑な取得に協力する。